



平成27年度の事業を振り返って

平成27年度の実績等

当教育センターでは、平成27年度の事業を概ね計画どおり終了いたしました。皆様の御理解、御協力に心より感謝申し上げます。以下に主な取組の実績等を示します。

○研修講座、セミナー等

実施した研修講座は、地区別研修会やe-Learningを含めて121講座で、受講者数は4,933名でした。セミナー受講者や研究発表会参加者数を加えると、5,734名となりました。

研修講座・セミナー	講座数	受講者数(名)
研修講座	121	4,933
学校経営セミナー	1	98
ステップアップセミナー	1	463
センター研究発表会	1	240
計	124	5,734



※ICT教育推進地区別研修会（小・中学校対象）

・「長崎県教育ICT化推進事業」のうち、小・中学校における「ICT教育推進事業」について、県内各学校へその概要と実践状況等を知らせるとともに、学校でのICT化推進のポイント及び授業におけるICT活用の視点等について広く周知し、今後のICT教育の普及と充実を図るということを目的として、8月から11月にかけて県内4会場で開催しました。



※『いじめの予防と対応』における校内研修の在り方」地区別研修会

・いじめについての基本的な考え方の共通理解と教職員の実践力の向上を図ることを目的として、平成27年度から28年度にかけて県内11会場地区別研修会を開催することとしています。27年度は、9月から1月にかけて5会場で開催しました。



※特別支援教育スキルアップ研修（地区別研修会）

・特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する指導力の向上を図ることを目的として、7月から8月にかけて県内7会場で開催しました。

○学校等に出向いて行う支援

学校等に出向く支援のうち、主なものの実績を示します。

- ・若手教員や講座受講者等の個人を対象とした学校訪問を107回実施しました。
- ・出前講座は75回、研究援助は67回など、組織・集団を対象とした支援を合計142回実施しました。
- ・巡回教育相談はのべ187名、巡回(訪問)支援はのべ1,230名など、合計1,417名の幼児児童生徒に対する相談を実施しました(2月末現在)。
- ・「高等学校における特別支援教育ガイドブック(実践研究編)」を用いた伝達研修を、平成27年度から28年度にかけてすべての公立高等学校で実施することとしていますが、27年度は予定通り35校で実施しました。

○長崎県学力向上「活用教材」

小・中学校の学校現場で活用できる教材を作成し、[長崎県教育センターWeb ページ](#)にアップしています。今年度から、活用教材のダウンロードが、校種・教科・年度別に一括して行えるようにしました。

- ・今年度は小学校の国語 10 本、社会 2 本、算数 16 本、理科 4 本、中学校の国語 8 本、社会 6 本、数学 6 本、理科 8 本、英語 4 本の「活用教材」を新たに作成しました。昨年度までの作成分と合わせると、小学校の教材は計 160 本、中学校の教材は計 201 本になりました。

教科別の内訳は、以下のとおりです。

小学校……国語 46 本、社会 26 本、算数 61 本、理科 27 本

中学校……国語 37 本、社会 47 本、数学 38 本、理科 44 本、英語 35 本

- ・特に国語、算数・数学は全国学力・学習状況調査に対応した内容で、かつ 5～10 分で解ける問題を作成しています。授業での活用や家庭での学習教材として児童生徒の学力アップに大いに御活用ください。



○学び直し授業動画

高等学校における学習内容の基礎基本を学び直し、授業の理解度を向上させるための「学び直し授業動画」を作成し、[長崎県教育センターWeb ページ](#)にアップしています。

- ・今年度は、国語 8 本、世界史 6 本、数学 7 本、化学 6 本、英語 6 本を新たに作成しアップしました。昨年度までの作成分と合わせると、国語 20 本、日本史 12 本、世界史 6 本、数学 22 本、化学 6 本、生物 12 本、英語 17 本となっています。
- ・スマートフォンやタブレットでも見るができますので、いつでもどこでも気軽に利用できるようになっています。学び直しが必要な生徒への支援をはじめ、様々な場面で大いに御活用ください。



○遠隔授業等

免外教員の指導の支援や、離島地区に赴任している若手教諭・講師の授業力向上支援等のために、「遠隔授業システム」を活用した授業力向上支援を行いました。

- ・今年度は、離島の高等学校を対象とした遠隔授業を 24 回実施しました。
(実施校 13 校、実施教科：国語 3 回、地歴 3 回、数学 4 回、理科 3 回、英語 3 回、情報 8 回)
- ・「遠隔授業システム」を利用して学校と教育センターをつなぎ、指導主事が教育センターにいながら学校における授業研究等への支援を行う研究援助を 5 回実施しました。

平成 28 年度の事業について

平成 28 年度も引き続き、教職員研修、調査研究、教育相談、教育情報の収集・発信に努めてまいりますが、平成 27 年度と大きく異なる点を一つお知らせします。

○初任者研修にかかる改編

初任者研修については、校種ごとの実践的指導力をより一層向上させるために、県教育委員会が主催する研修の実施形態やプログラムを一部改編します。たとえば、これまで夏の宿泊研修は、全校種そろって諫早青少年自然の家で実施していましたが、平成 28 年度からは校種別に分かれて教育センターで実施するなど、それぞれの校種における実践的指導力をさらに高めるべく必要な改善を図っていくこととしています。

これからも、教育センター事業の一層の充実を目指し努力してまいりますので、皆様におかれましては引き続き当センターの積極的な御利用をよろしくお願いいたします。

(副所長 安部 成年)